

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>令和6年度 6月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子</p>
---	--------------------------	---

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



自然学校での体験を大切に

学校のアジサイも花をつけてきました。いよいよ6月です。蒸し暑くなったり冷えたりと体調を整えにくい時期になります。梅雨も近づいてきます。大雨にも気をつけないといけません。

5年生が、5月20日(月)から24日(金)まで自然学校に行ってきました。自然学校中は、お天気に恵まれ、尼崎では体験できないような自然の中で、思いっきり活動できたと思います。

自然学校は、昭和63年から兵庫県下の公立学校5年生対象で「こころ豊かな人づくり」を目指して実施されました。この間には、平成7年の阪神・淡路大震災や平成9年の神戸市須磨区での事件が発生しました。これらのことを通して、命の大切さ、助け合うことの大切さなどを学ぶ必然性を再確認し、兵庫県の誇れる事業の一つとなって現在まで続けられています。そのうえで、「こころの教育」の必要性が緊急の課題として唱えられました。そこで、兵庫県では自然学校推進事業を幼児期からの生活体験や自然体験などの直接的な体験を積み重ね、みずみずしい感性や豊かな人間関係を育てることが必要であるとの提言をふまえながら、「こころの教育」の充実を目指して、子どもたちの「生きる力」を育む体験活動の場としてその歩みを続けているのです。

このような教育的価値のある体験活動を5年生のこどもたちは、5日間、がんばりきりました。1日目の開校式では、少し不安げに見えました。それが、日を追うごとに自分の役割をしっかりと果たし、たくましく見えてきました。もちろん、その間には、家庭のようにはいかず、おもしろくないと思ったこともあったと思います。でも、これも社会です。自分なりに切り替えて、折り合いをつけ、進めていったと思います。2日目の仲間づくりプログラムでは、協力することのすばらしさをみんなで感じることができました。その後の野外炊事やツリーイング、焼き板、キャンプファイヤーなどでもみんなで協力し合って、一つのもので作り上げる体験ができました。閉校式や帰校式では、5日間の体験の賜物なのではないでしょうか、子どもたちの自信あふれる表情を見ることができました。

6月は蒸し暑い日が増えてくると思われます。学校では、適切に空調を使っています。熱中症予防や安全面を考慮して、登校時から帽子の着用をお願いします。また、水筒には、たっぷりの飲み物を用意してください。

